

近年、医療技術の高度化や専門化が進み、看護師の役割もますます拡がっています。医師と看護師だけでなく、薬剤師、理学療法士、栄養士など様々な職種と



新たな活動場所を求めて

おとなのおともども
の医療センター
大東千晶さん
呼吸器関連領域

情報を共有し、お互いに連携しながら一人ひとりの患者さん

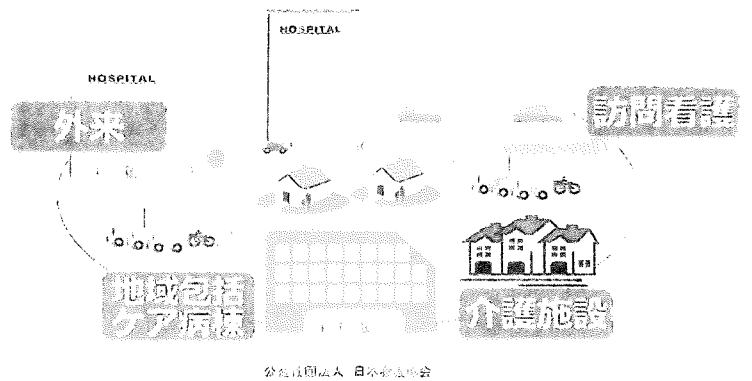
者さんにあつた医療と看護の提供していかねければなりません。私は組織全体で取り組むチーム医療のキーパーソンとなるため特定行為研修を受講し

ました。現在は、2週間に1回病棟の看護師やカルテからの情報を得て、手順書にもとづき、呼吸を助けるために気管に挿入している管の交換を実施しています。患者さんに一番近い医療従事者として寄り添い、ご家族がいつでも相談できる存在であること。皆さん一人ひとりがその人らしく、安心して毎日が過ごせるように退院後の生活を見据えた支援を行い

ます。番患者さんに近い存在でありたいと思つています。また、皆さんに特定研修制度を理解して頂けるよう院内・院外への広報活動を行つていくとともに活動場所を拡大していくことが研修修了者の役割だと考えています。今後も実践力を高め、皆さんの支えとなるよう患者さんに寄り添つた看護を提供していきたいと思つています。

制度を活用した看護師の活動

対象者の希望や生活に応じた医療の提供、異常の早期発見・介入により、在宅療養を支援



特定行為に係る研修制度とは

診療の補助のうち、看護師が医師からの手順書で行う場合には、実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能が特に必要とされるもの(特定行為)を明文化し、手順により特定行為を行う看護師への研修を義務化した制度です。

公益社団法人 日本看護協会公式ホームページより転写